

## 1 1. 新規導入された研究機器

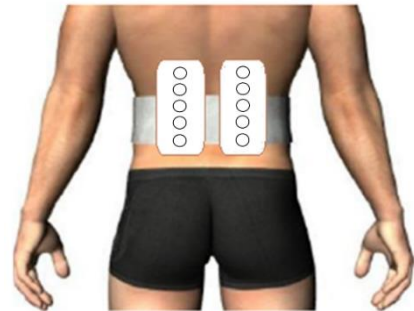
### ■ 左右分離型トレッドミルブレインプロ（株式会社ヒューマン）

左右のベルト速度を個別に多様な方式で変化させることができる左右分離型トレッドミルである。左右のベルト速度が異なった状態で一定時間歩行し適応した後は歩行の時空間指標の対称性が対象者が意図することなく変化する。ニューロリハビリテーション研究センターでは、歩行の適応能力に関する研究や様々な対象者における歩行非対称性を改善するための介入効果を検証する研究に使用されている。



### ■ シート型筋電計システム（ユニークメディカル）

脊柱起立筋などの長い筋を、幅広い範囲で網羅的に計測することのできるシート型筋電計測システムである。同筋内でのコヒーレンスなどを算出することもできるため、ニューロリハビリテーション研究センターでは、運動障害の評価ツールとして使用されている。



### ■ Thermal Grill Illusion 誘発キット（ユニークメディカル）

冷たい板（20℃）と温かい板（40℃）を交互にセッティングして、そこに手を置くと、神経障害性疼痛特有の「灼熱感」を伴うような痛みを、実験的に再現することができる。ニューロリハビリテーション研究センターでは、痛みに対するニューロリハビリテーションの開発のための基礎研究としてされている。

